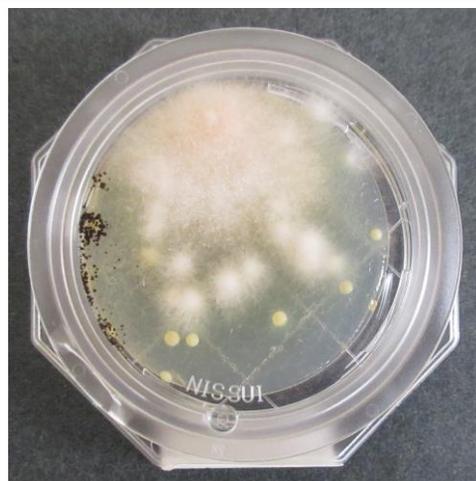


業務用

フィンシャイニーIN



本剤の塗布なし



本剤の塗布あり

揮発性洗浄成分+除菌剤の効果ですすぎ不要の洗浄除菌！

洗浄成分による汚れ落としと同時に除菌コーティングができます。

・洗浄成分

重炭酸ソーダ（重曹）+ 揮発性アルカリ洗浄成分で広範囲な汚れに対応しています。

・除菌成分

エタノール+除菌成分により、一般細菌、ウイルスに対して効果が持続します。

【使用方法】

標準使用量

反応時間など記入いただくと助かります。

【性状・荷姿】

外 観	無色～単黄色透明液体
pH（1%水溶液）	10.8
荷 姿	1.8Kg入りタフテナー

(*1 真菌のテスト方法)

真菌用のスタンプ式の培地に本剤を塗布して乾燥させる。
次に使用中の雑巾の5箇所押し付けた後、25℃で4日間培養する。
同様に本剤を塗布していない培地を作成して菌の発育状態を比較する。

ご使用上の注意点

- ・SDSをよく読んでからご使用下さい。
- ・作業時にはゴム手袋等の防護具を必ずご使用下さい。
- ・身体に付着すると刺激性がありますのでご注意下さい。
- ・付着した場合は、直ちに流水でよく水洗して下さい。
- ・腫れや痛みがある場合は医師の手当てを受けて下さい。

株式会社中外技研

〒543-0001 大阪府大阪市天王寺区上本町5-2-11

上六新興産ビル3階

TEL : 06-4305-7851 FAX : 06-4305-7852

Mail : info@chugai-giken.jp Web : www.chugai-giken.jp

安全データシート（SDS）

1、製造品及び会社情報

会 社 名	:	会 社	株式会社中外技研
	:	住 所	大阪市天王寺区上本町 5-2-11
	:	担当部門	第一開発部
	:	電 話	06-4305-7851
	:	ファックス	06-4305-7852
作 成 日	:	2020 年 1 月 10 日	
改 定 日	:		

製 品 名 : フィンシャイニー I N

2、危険有害性の要約

GHS 分類

【物理化学的性質】	【健康に対する有害性】
火薬類 【分類対象外】	急性毒性（経口） 【区分外】
可燃性・引火性ガス 【分類対象外】	急性毒性（経皮） 【分類できない】
可燃性・引火性エアゾール 【分類対象外】	急性毒性（ガス） 【分類できない】
支燃性・酸化性ガス 【分類対象外】	急性毒性（蒸気） 【分類できない】
高压ガス 【分類対象外】	急性毒性（粉じん／ミスト） 【分類できない】
引火性液体 【区分外】	皮膚腐食性・刺激性 【区分外】
可燃性固体 【分類対象外】	眼に対する重篤な損傷・刺激性 【区分 2 B】
自己反応性化学品 【分類できない】	呼吸器感作性 【分類できない】
自然発火性液体 【分類できない】	皮膚感作性 【分類できない】
自然発火性固体 【分類対象外】	生殖細胞変異原性 【分類できない】
自己発熱性化学品 【分類できない】	発がん性 【分類できない】
水反応可燃性化学品 【区分外】	生殖毒性 【分類できない】
酸化性液体 【分類できない】	
酸化性固体 【分類対象外】	特定標的臓器・全身毒性 【分類できない】
有機過酸化物 【分類対象外】	（単回暴露） （呼吸器系）
金属腐食性物質 【分類できない】	
【環境に対する有害性】	
水生環境急性毒性 【区分外】	特定標的臓器・全身毒性 【分類できない】
	（反復暴露）
水生環境慢性毒性 【区分外】	吸引性呼吸器有害性 【分類できない】

GHS ラベル要素

【絵表示又はシンボル】

—

【注意喚起語】

警 告

【危険有害性情報】

- ・ 眼刺激

【注意書き】

[予防策]

- ・ 使用前に取り扱い説明書を入手し、すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・ 取り扱った後、手、顔などをよく洗うこと。

[対 応]

- ・ 飲み込んだ場合は、無理に吐かせずに口をすすがせ、医師の手当てを受けさせること。
- ・ 眼に入った場合は水で数分間洗い、コンタクトレンズを着用している場合は可能ならば外して洗浄を続け、医師の手当てを受けること。
- ・ 皮膚（または髪）に付着した場合は、流水／シャワーと石けんでよく洗い、刺激が続く場合は医師の手当てを受けること。

[保 管]

- ・ 容器を密閉して、直射日光を避け、火気、熱源から遠ざけて、涼しい所／換気の良いところに保管すること。
- ・ 容器を密閉しておくこと。

[廃 棄]

- ・ 内容物／容器を廃棄する場合には、当該法規に従い、都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること。
- ・ 使用済みの容器は、他の用途に使用しないで適正に廃棄すること。

3、組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : 洗淨剤

化学特性 (化学式等)	成分名	CAS 番号	濃度又は 濃度範囲(%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
非公開	界面活性剤類	非公開	非公開	非公開
非公開	抗菌剤	非公開	非公開	非公開
非公開	グリコール類	非公開	非公開	非公開
非公開	アルカリ類	非公開	非公開	非公開
非公開	アルコール	非公開	非公開	非公開
H ₂ O	水	7732-18-5	非公開	—

4、応急処置

吸入した場合

- ・ 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で安静にさせる。
- ・ 気分が悪い場合は、医師の手当、診断を受けること。
- ・ 呼吸していて嘔吐がある場合は、頭を横向きにする。
- ・ 呼吸が止まっている場合、又は呼吸が弱い場合には衣類を緩め、呼吸気道を確保した上で人工呼吸（又は酸素吸入）を行なう。

皮膚に付着した場合

- ・ 直ちに汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ、取り除くこと。
- ・ 皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
- ・ 刺激が続く場合は、医師の手当、診断を受けること。
- ・ 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

眼に入った場合

- ・ 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ 医師の手当、診断を受けること。

飲み込んだ場合

- ・ 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- ・ 医師の手当、診断を受けること。

5、火災時の措置

消化剤

【小火災】

- ・ 二酸化炭素、粉末消化剤、散水、耐アルコール性泡消火器

【大火災】

- ・ 散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤

使ってはならない消化剤

- ・ 棒状注水

特有の危険有害性

- ・ 加熱により容器が爆発するおそれがある。
- ・ 火災によって刺激性、毒性又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

- ・ 消火作業は風上から行なう。
- ・ 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
- ・ 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火を行なう者の保護

- ・ 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6、漏出時の措置

人体に対する注意事項

- ・ 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

保護具及び緊急時措置

- ・ 作業者は適切な保護具（「8、ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

- ・ 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。環境中に放出してはならない。

回収、中和

- ・ 漏れた液を密閉性の容器に集める。環境中に放出してはならない。

封じ込め及び浄化の方法・機材

- ・ 少量の場合には、ウエス等に吸収させて密閉できる空容器に回収する。
- ・ 大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

二次災害の防止策

- ・ 排水溝、下水道、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
-

7、取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

【技術的対策】

- ・ 「8、ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

【局所排気装置・全体換気】

- ・ 「8、ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気装置、全体換気を行なう。

【安全取扱注意事項】

- ・ 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
- ・ 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取り扱いをしてはならない。
- ・ 眼、皮膚に付けないこと。
- ・ ミスト・蒸気・スプレーを吸引しないこと。
- ・ 接触、吸入又は飲み込まないこと。
- ・ 取り扱い後はよく手を洗うこと。

【接触回避】

- ・ 「10、安定性及び反応性」を参照。

保管

【適切な保管条件】

- ・ 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。
- ・ 容器は直接日光や火気を避けること。
- ・ 容器を密閉して保管する。

【容器包装材料】

- ・ ポリオレフィン等(アトロン缶、内装ポリオレフェンケース)、コート缶など

8、ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない。

設備対策

- ・ 洗眼器と安全シャワーまたは水道設備が付近にあること。

保護具

【呼吸器用の保護具】

- ・ 状況に応じてマスクの他適切な保護具を着用する。

【手の保護具】

- ・ ゴム等の不浸透性の保護手袋を着用する。

【眼の保護具】

- ・ 状況に応じて保護眼鏡等を着用する。

【皮膚及び体の保護具】

- ・ 状況に応じて保護服、保護長靴、保護前掛け、保護衣、

【衛生対策】

- ・ 保護具は保護具点検表により定期的に点検する。

9、物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など	: 透明液体
臭い	: 僅かな特異臭
PH	: 10.8 (原液)
融点・凝固点	: データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	: 100°C
引火点	: データなし
燃焼又は爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度 (空気=1)	: データなし
比重	: 0.99 (15/4°C)
溶解性	: 水に可溶
オクタノール／水分配係数	: データなし
粘度	: データなし

10、安定性及び反応性

安定性

- ・ 通常の取り扱いにおいて安定である。

危険有害反応性・可能性

- ・ 特記すべき反応性はなし。

避けるべき条件

- ・ 直射日光

混触危険物質

- ・ 酸化剤、強酸性物質など。

危険有害な分解生成物

- ・ 燃焼すると一酸化炭素を含む有毒ガスを生成する。

1 1、有害性情報

急性毒性

- ・ 経口 LD50 : データなし

皮膚腐食性・刺激性 : データなし

眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 眼に対して軽度の刺激が予想される。

呼吸器・皮膚感作性 : データなし

生殖細胞変異原性 : データなし

発がん性 : データなし

生殖毒性 : データなし

特定標的臓器・全身毒性 : 分類できない
(単回暴露)

特定標的臓器・全身毒性 : 分類できない
(反復暴露)

1 2、環境に対する有害性

水性環境有害性 (急性) : データなし

水性環境有害性 (慢性) : データなし

その他の環境情報 : データなし

1 3、廃棄上の注意

残余廃棄物

- ・ 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
- ・ 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託処理する。

汚染容器・包装

- ・ 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

1 4、輸送上の注意

国際規制

国連番号 : 該当しない

国連分類 : 該当しない

容器等級 : 該当しない

国内規制

陸上 消防法 : 非危険物

輸送の特定の安全対策及び条件

- ・ 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等が無いことを確認する。
- ・ 転倒、落下、破損が無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にこなう。
- ・ 該当法規に従い、包装、表示、輸送を行なう。
- ・ 火気注意

15、適用法令

労働安全衛生法 : 非該当

毒物及び劇物取締法 : 非該当

消防法 : 非該当

化学物質管理促進法（PRTR 法） : 非該当

16、その他の情報

参考文献

- 1) 各原料メーカーの製品安全データシート
- 2) Patty (5th, 2001)
- 3) DFGOT vol.19 (2003)
- 4) GHS 国連文書 改訂2版
- 5) 容器イエローカード塗料用マニュアル
- 6) GHS 対応 MSDS の書き方
- 7) 国際化学物質安全性カード (ICSC)

記載内容の取り扱い

- ・ 記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性に関しては、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上ご使用下さい。